

平成２９年度第２回 伏見区基本計画推進区民会議

日時：平成２９年１１月３０日

午前１０時～１１時３０分

場所：伏見区役所４階中会議室

次 第

１ 開会

馬屋原宏 伏見区長あいさつ

橋爪紳也 座長あいさつ

２ 議題

（１）平成２９年度伏見区運営方針の進捗状況

ア 三所共同事業の進捗について・・・資料１ 資料２

イ 区役所・支所の主な取組の進捗について

・伏見区役所の取組の進捗状況・・・資料３

・深草支所の取組の進捗状況・・・資料４

・醍醐支所の取組の進捗状況・・・資料５

（２）その他

・保健福祉センターの現状について・・・資料６

・伏見区関連の情報発信の充実について・・・資料７

３ 閉会

村井信夫 副座長あいさつ

京都市伏見区基本計画推進区民会議開催要綱

(趣旨)

第1条 伏見区基本計画「皆でつくる すむまち伏見」を区民、事業者等及び行政の協働により推進するに当たり、その進捗を確認し、幅広く意見を求めることを目的として、「京都市伏見区基本計画推進区民会議」（以下「会議」という。）を開催する。

(委員)

第2条 会議に参加する委員は、学識経験のある者その他伏見区長（以下「区長」という。）が適当と認める者のうちから、区長が依頼し、又は任命する。

2 前項の規定により依頼し、又は任命する委員の人数は、35人以内とする。

(任期)

第3条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(座長の指名等)

第4条 区長は、委員のうちから会議の座長及び副座長を指名する。

2 座長は、会議の進行をつかさどる。

3 座長に事故があるときは、副座長がその職務を代理する。

4 区長は、委員のうちから専門的見地を有する者をアドバイザーに指名することができる。

(招集)

第5条 会議は、区長が招集する。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、会議の開催に関して必要な事項は、区長が定める。

(事務局)

第7条 会議の事務局を、伏見区役所地域力推進室に置く。

附則

(施行期日)

1 この要綱は平成26年4月1日から施行する。

(関係要綱の廃止)

2 伏見区基本計画推進区民会議要綱（以下「旧要綱」という。）は、廃止する。

(経過措置)

3 この要綱の施行の際現に旧要綱に基づく伏見区基本計画推進区民会議（以下「旧伏見区基本計画推進区民会議」という。）の委員である者は、この要綱の施行の日（以下「施行日」という。）に会議の委員として依頼又は任命されたものとみなす。この場合において、その依頼され、又は任命されたものとみなされる者の任期は、第3条第1項本文の規定にかかわらず、施行日における旧伏見区基本計画推進区民会議の委員としての任期の残任期間とする。

4 この要綱の施行の際現に旧伏見区基本計画推進区民会議の座長及び副座長である者は、施行日に第4条第1項の規定により座長及び副座長に指名されたものとみなす。

伏見区基本計画推進区民会議委員名簿

(敬称略)

所 属 等	氏 名
大阪府立大学教授	橋爪 紳也(座長)
伏見区市政協力委員連絡協議会	村井 信夫(副座長)
醍醐コミュニティバス市民の会	岩井 義男
醍醐いきいき市民活動センター	内野 道代
伏見区市政協力委員連絡協議会	宇野 正二
京都伏見工業会	大窪 茂
伏見区スポーツ推進指導員会	岡谷 陽子
京都おやじの会連絡会	小倉 誠一
龍谷大学短期大学部教授	加藤 博史
伏見酒造組合	河崎 耕治
高松伸建築設計事務所	坂田 吉春
京都商工会議所中小企業経営支援センター洛南支部	佐藤 直資
京都市中学校PTA連絡協議会伏見支部	白石 幸太郎
伏見区地域女性連合会	高橋 肇子
京都中小企業家同友会伏見支部	田中 敏博
伏見区市政協力委員連絡協議会	土田 勝雄
總本山醍醐寺	仲田 順英
伏見区市政協力委員連絡協議会	中野 武司
特定非営利活動法人伏見観光協会	永山 邦明
伏見区市政協力委員連絡協議会	野村 武嗣
伏見いきいき市民活動センター	三木 俊和
伏見青少年活動センター	村井 繁光
伏見商店街連盟	村上 好夫
京エコロジーセンター(公益財団法人京都市環境保全活動推進協会)	谷内口 友寛
伏見区文化協議会	山本 英藏
公募委員	小山 裕太
公募委員	眞田 章午
公募委員	山本 照美
伏見区長	馬屋原 宏
深草担当区長	岩井 英人
醍醐担当区長	三宅 英知

平成 29 年度伏見区区民活動支援事業について

1 申請件数及び採択件数

(1) 申請件数 61 件

(一般枠 15 件, 重点支援事業 12 件, 小規模枠 34 件)

(2) 採択件数 51 件

(一般枠 13 件, 重点支援事業 12 件, 小規模枠 26 件)

2 補助金交付予定額及び採択事業概要

一般枠 4, 724 千円・・・概要は別紙 1 のとおり

重点支援事業 1, 698 千円・・・概要は別紙 2 のとおり

小規模枠 3, 578 千円・・・概要は別紙 3 のとおり

計 10, 000 千円

平成 30 年度の基本的な考え方

- 一般枠：「明治 150 年 京都の奇跡」プロジェクトと呼応する取組の積極的な PR
- 重点支援事業：採択件数の拡充等

参考 1：制度概要

・支援対象事業

伏見区内で実施する「伏見区基本計画取組目標」に該当する事業

・支援内容

一般枠：補助金交付額は、必要事業経費の 2 分の 1 以内で上限は 60 万円

小規模枠：補助金交付額は、必要事業経費の 5 分の 4 以内で上限は 15 万円

※重点支援事業（平成 29 年度新設）

小規模枠のうち、以下の重点課題の解決を主な目的とし、かつ学区レベルなど広い地域への効果が見込まれる事業については、「重点支援事業」に位置づけ、優先的に採択。

平成 29 年度重点課題

○子どもの貧困対策等（子ども食堂、子どもの居場所づくり等）

○健康長寿（ロコモ予防セミナー、健康ウォーキング、体操教室等）

○地域防災（避難所運営図上演習、自治連合会・自主防災会と PTA 合同の講演会等）

参考 2：過去の申請・採択状況

	申請件数（金額）	採択件数（金額）
平成 24 年度	26 件（7, 483 千円）	19 件（4, 946 千円）
平成 25 年度	39 件（10, 504 千円）	33 件（8, 400 千円）
平成 26 年度	40 件（10, 309 千円）	33 件（8, 142 千円）
平成 27 年度	53 件（14, 052 千円）	33 件（8, 393 千円）
平成 28 年度	54 件（14, 178 千円）	37 件（9, 767 千円）

【一般枠】

事業名 (申請団体名)	事業概要	交付 予定額 (円)
誰でもがコンシェルジュに！スマホおもてなし講座 (特定非営利活動法人花パソ)	外国人による観光名所日本一の伏見稲荷をはじめ伏見区には多くの観光名所があり、多くの外国人観光客が訪れる。伏見区民が外国人観光客にスマホアプリで道案内、観光案内、おもてなしの心で伏見の案内が出来るようなスマホのアプリ講座を実施して区民レベルでの国際交流を促進すると共に ICT の町、伏見を目指す。	183,000
Manamana Lima (マナマナリマ) ハワイアンファミリーデー (ハワイアンファミリーデー)	夏休みの子どもの居場所づくりを目的として、淀地域(美豆、明親、納所学区)の子どもたちが家庭環境等に関係なく、子どもから大人まで参加いただけるワークショップを開催するとともに夏の思い出作り、夏休みの宿題をサポートする。	269,000
いのちファースト宣言 学区プロジェクト (伏見区砂川学区自治連合会)	「いのちを大切にする」という共通テーマで、学区民が意識的に語り合い、交流しあう機会をつくり、敬老インタビュー、多世代交流、河川の生態系回復、山村地域との交流を進め、学区のブランド化に挑む。	450,000
『古文書で伏見の歴史を再発見！』 (特定非営利活動法人史料データ保存ネットワーク)	多くの古文書が捨てられつつある時期になっている。保存しないと町の貴重な財産が失われる事になり、将来に大きな禍根を残す事になる。古文書の中には「まちづくり」に活用出来るものも多く残っているはずである。今年度は、御香宮神社の古文書調査を中心に推進し、また京都大学との連携もすることとなった。	480,000
大岩山の自然資源を活かした里山のちいさなシゴトづくり (父活プロジェクト)	身近な自然資源を活かしたプロジェクト活動を通じて、様々な世代がつながり、自分なりの「学び」をデザインしながら、子ども達とともに自分たちの地域を豊かに育む環境づくりを行う。深草の里山である大岩山をフィールドにちいさなシゴト(例えば、京都地域力ビジネス)に取り組む。	126,000

子ども・若者の拠点づくり事業 (子ども・若者の拠点づくり事業 実行委員会)	伏見、向島の子ども・若者自身が参画し、地域で孤立し困っている子ども・若者に対する学習や体験を行う場、自分たちの力を発揮する場となる拠点を作するため、地域住民や関係機関、若者の支援機関、大学や学生ボランティアなどと連携のもと、拠点づくり事業を実施する。	405,000
よろず相談 (特定非営利活動法人ちいろば)	地域には一人暮らしや孤立されている方が少なからず住んでいる。地域のつながりの断絶と孤立死を防ぐために、地域で気軽に立ち寄れる場、人とふれあう場の必要性を感じる。そこで、「よろず相談事業」(相談事業及びイベントとして講演会、演奏会、料理教室)を実施し、地域の方のすこやかな暮らしを支える。地域で人と人とのつながりを深め地域の福祉力を高めていくことを目指す。	388,000
五感で感じる鳥羽伏見の戦い 150 年プロジェクト (鳥羽伏見 150)	鳥羽伏見の戦いから 150 年の区切りの年に、多くの住民が参加する周年事業を実施し、住民同士の絆を深め、伏見が日本の歴史を変える舞台になったことを身近に感じてもらうとともに、伏見の新たな観光資源となり、今後の継続的なまちづくりにつながるきっかけを作る。聞き取り調査、写真展、時代行列、歴史ショー、史跡巡り、講演会、図屏風等を実施。	600,000
伏見子ども阿国歌舞伎の再現プロジェクト (伏見子ども歌舞伎実行委員会)	「伏見で生まれた桃太郎」を演目とする子ども歌舞伎に親子で参加することを呼びかけ上演し、伏見が歌舞伎発祥の地の一つであることと、桃太郎が御香宮神社で授かった桃から生まれたという江戸時代のおとぎ話を、伏見の住民・事業者に知ってもらい、次の3点の目標実現を目指す。①伏見の新たな魅力として発信、②親子の対話が増える、③子どもたちに家族の大切さを伝える。	600,000
「コミュニティ放送を使った 高齢者への生活情報支援」 (地域と人と～ かけはしの会)	社会とのつながりが希薄になり、情報からも孤立してゆき、そんな高齢者に寄りそい、わかりやすい言葉で地域情報をお伝えする朗読番組を制作・放送する。	300,000

酒と川酒菜ベストマッチメニュー（商品）の決定と伏見飲食文化の発信・普及事業 （川魚文化再興プロジェクトチーム）	川酒菜のメニュー或いは商品（加工品）の開発を行った上で、これらと伏見の酒のマッチングコンテストを行いベストマッチメニュー或いはベストマッチ商品（加工品）を決定する。これを基に酒とメニュー（又は商品）のマッチングに関する情報発信を通じて、伏見の飲食文化の魅力開発と普及を行う。その上で、これらのメニュー（商品）が常時或いは定期的にでも提供されるような「場」の設置も行う。	254,000
稲荷の家ほっこり 居場所づくり （稲荷の家ほっこりつどいの広場）	人工呼吸器や在宅酸素を使用しておられるなど、環境整備が必要な障害をもつため、一般の子育て支援には参加しにくいお子さんとその保護者が集える場を作る。遊びに行きたくても制約があり、自由に出かけることが難しい方の居場所を作ることにより、これまで子育て支援が届きにくかった方にも支援が届くようにする。	340,000
集合住宅と地域を結ぶ多世代交流居場所・きずなづくり事業「ことはいカフェ」 （コトーハイツ伏見稲荷きずなづくり事業実行委員会）	深草地域においては、集合住宅での世代間交流の少なさや独り暮らしの高齢者等の孤立化が進んでいることが課題となっている。住民同士の助け合い・サポートに対する要望もある中、それらの課題・要望を踏まえて、子育て世代からシニア世代までの多世代交流居場所サロン「ことはいカフェ」を毎週開催し、集合住宅と地域のつながりやきずなを深めることを目指す。	329,000
	合計 13 事業	4,724,000

【重点支援事業】

(別紙2)

事業名 (申請団体名)	事業概要	交付 予定額 (円)
「笑顔つなぐ みんな のいいばしょ (居場所)」 (京都市南浜児童館運 営協力会)	南浜学区内に新しいマンションが建設され、多 くの子育て世帯が転入しているが、地域と関わ りを持たない世帯が増えており、地域でどこに 子どもがいるのかも分からない状況にある。さ らに、共働き等により子どもが一人で過ごす世 帯が増えている。 このため、子どもの居場所作りとして事業展開 し、地域で孤立した世帯を減らし、地域全体で 子どもの成長を見守ることを目的とする。	150,000
竹田子ども育みプロジ ェクト (田中宮市営住宅自治 会)	ワークライフスタイルの変化に伴い、共働きの 両親が増え、子育てに悩む世帯が増えている。 そこで、当市営住宅、竹田学区全域及び藤森学 区の一部地域内の子どもたちを対象に、田中宮 自治会役員及び NPO 法人国際ボランティア学 生協会の IVUSA (龍谷大学深草支部) と協力し、 子ども向けの絵本の読み聞かせや、その後、手 作りのカレー等を食べて交流し、子どもたちの 繋がりを広め、地域で子育て支援のネットワー クづくりを行う。また、地藏盆に併せて「竹田 の子守歌」盆踊り練習会を開催し、地域の伝統 文化に子どもたちが気軽に触れる機会を創出す る。	129,000
醍醐西子どもの居場所 (醍醐西子どもの居場 所実行委員会)	少子長寿化が著しく、ひとり親家族や不安定就 労者や生活保護世帯が多い醍醐西学区におい て、孤食の状態にあるなど支援が必要な子ども たちに、地域の大人やボランティアとともに楽 しく学び、遊び、食べることのできる「子ども の居場所」を提供する。そして、地域ぐるみで 子どもを見守りはぐくむ取組を継続し、子ども たちの健全な成長をはかり、生きる力を身につ けてもらう。	150,000

こども食堂（ダイニング あんさんぶるわこう） （ダイニングあんさん ぶるわこう実行委員会）	両親共働きにより、孤食となっている子どもたちと共に、ボランティアや地域の方と楽しく食事や遊び等を通じて交流を図る。人と人がつながり、地域 みんなが笑顔になれる場所として、交流スペースを開放していく。	150,000
みんなで元気体操（筋力 トレーニング、介護予防 トレーニングの実施） （みんなで元気体操と 話の会）	近頃、体力の衰えを感じると云う高齢者が増えてきた。対策として筋トレ、脳トレを規則正しく行い健康に対する意識を高め、寝たきり介護生活にならない「いきいきと」暮らせる生活づくりをめざす。	140,000
地域力で行うロコモ予 防「健康教室で学び、健 康チェックで知る」 （伏見ロコモ予防クラ ブ）	運動器障害である「ロコモ」を予防することは、超高齢化社会における介護状態を防ぐとともに、健康寿命の延伸につながる。そのため、正しい知識を学ぶとともに、現在の健康状態を知ることが必要である。そこで、淀地域の方々ははじめ伏見区内の方々と一緒に「健康教室で学び、健康チェックで知る」というイベントを開催する。	150,000
地域と共に第2の人生を 自分らしく生きる集い、 支え合い、学びの縁側 （ふれあいオレンジカ フェももやま 実行委 員会）	引きこもりがちな高齢者や軽度認知症の方々に対して外出の機会を増やす為、はつらつ体操やロコモ予防・耳の観光ツアー・映像による郷土史探訪など多彩な企画を通じて、心身の健康増進と自立生活を支援する事業を行う。本事業を通じて、地域住民同士が対話を楽しみ、生活改善を促して、生き甲斐を感じられる居場所づくりを目指す。	150,000
日野学区支え合いサロ ン おかげさま （日野学区婦人会）	長寿化が進む日野学区において、9月から12月まで毎月1回、日野小学校で高齢者に食事や学びの場を提供するサロンを開催する。サロンでは、高齢者が食事やおしゃべりを楽しみ、健康長寿に関する知識を学ぶとともに、地域役員や参加者同士の絆を深め、単身高齢者の閉じこもり予防や認知症の早期発見につなげ、地域で高齢者を支え合うまちづくりを目指す。	150,000

「小栗栖宮山防災行動モデル」の策定 (小栗栖宮山自主防災会)	学区住民に対し、災害発生時における命を守るための適切な初期行動への理解や、住民の共助による防災行動の重要性を周知し、防災意識の向上を図るため、防災に関する身近な課題をテーマとした取組や、新しい視点での取組を進めることで、防災の問題を契機に地域の連帯感の向上と、ひいては地域コミュニティの活性化を図る。	150,000
マイ防災マップの作成及び全戸配布 (羽束師地区自主防災会)	当地区では、平成 25 年に桂川の越水や避難所周辺の道路冠水により、避難に支障が生じた。自主防災会では、昨年度、地域内を視察し、過去の浸水箇所や危険箇所の情報を収集した。その情報を、「マイ防災マップ」として作成・各戸配布し、住民が安全に避難できるようにするとともに、各家庭や防災訓練での避難経路確認や、自主防災会未加入世帯の加入促進に繋げる。	90,000
わたしの避難計画 (二ノ丸学区自主防災会)	学区内には、高層階に高齢者や障害者等が多く、災害時の避難方法が課題である。そこで、「わたしの避難計画」を作成・全戸配布する。計画書は、緊急連絡先、常用薬、避難ルート等を記入するもので、災害時の避難方法や支援の必要性等を考えることになる。作成後は、家庭で冷蔵庫に貼ったり、自主防災会に提出する等により、防災意識の向上や災害時の支援に役立てる。	139,000
地域の集合場所における表示板の設置 (深草学区自主防災会)	現在、深草学区においては、住民全ての方が自主防災会に加入していないため、避難所に集合する前に住民の安否確認を行う地域の集合場所を知らない方が多いことが地域の課題となっている。そこで、学区住民の全ての方に、地域の集合場所が分かるように目印として表示板を設置することで地域における防災意識の高揚を図る。	150,000
	合計 12 事業	1,698,000

【小規模枠】

(別紙3)

事業名 (申請団体名)	事業概要	交付 予定額 (円)
高齢者が、他的高齢者、 障害者、子どもに朗読、 読み聞かせを提供する 「つながりを広げる活 動」 (お話しの会 すずら ん倶楽部)	高齢者自身が、周りの環境とつながるための自発力を 高め、それによって楽しさを感じて暮らしていくこと が、高齢化社会に活気を持たせることになる。活動の 中で、朗読、読み聞かせの基本を楽しいふれあいの中 で指導し伝え、高齢者が、他的高齢者や障害者、子ど もに、朗読、読み聞かせを提供していき、その輪が広 がることが目的である。	150,000
久我の杜小学校区域及 び神川中学校児童通学 路交通安全対策及び車 両に対する啓発活動 (久我の杜交通安全推 進委員会)	地域学童及び一般通り抜け車両等に対する注意喚起を うながす。昨年度から実施し多くの反射看板の施工に より久我の杜学区内の通行に対して一定の効果があつ たと考えている。しかし、悲しいことに隣接する学区 において小学生の死亡事故が発生し、今後同じような 事故がないよう対象地域を広げて実施する。	150,000
認知症の人もそうでな い人もみんなずっとこ の地域で暮らして行け る (ちえのわ)	今後も増加が予想される高齢化、また認知症について、 地域 みんなが正しい知識を持ち、お互い様の気持ち で関わりあえるようなコミュニティを築いていきた い。そのために、様々な専門職の講座による啓蒙、予 防や健康増進のための取組の紹介、体験。また、講師 も交えて気軽に質問できたり、思いを話し合える時間 も設けた「ちえのわ」を開催する。	150,000
きまぐれさろん「音楽 療法と笑いヨガで心と 体の健康づくり」 (きまぐれサロン)	向島ニュータウンでは高齢化が進んでおり、分譲マン ションでも高齢者の居場所づくりが急務となってい る。分譲マンションの集会室を活用することで、近く の住民が安心して参加できる居場所とコミュニケーシ ョンの場を提供する。	129,000
第二回 淀夏祭り (淀催事の会)	現在、淀地域においては地域住民の交流の場がないこ とが課題となっている。そこで、地域住民を対象に夏 祭りを開催し地域住民の交流を深める。	150,000
みんなの居場所 しも づ ほっとサロン (しもづ ほっとサロ ン 友の会)	「自分が行きたいと思える場所が身近にある」を目指 して誰でも参加できる居場所作りを行う。そこで知り 合った人たちがお互いに少しずつ気かけ合い、声を 掛け合い、災害時などに助け合う繋がりができ、居場	150,000

	所に集う人を中心に町内に相互扶助の支援チームを生み出すための活動に取り組む。	
伏見のワラジ造りプロジェクト (御香宮武者組)	伏見とワラジの結びつきは、伏見稲荷大社が稲荷山を藤森神社から入手した 1300 年前にさかのぼるが、ワラジの需要の激減に伴い、ワラジの生産が伏見から消えて久しい。本事業は、伏見のワラジの伝統的な製法技術を保存継承するために、親子で参加する制作体験会と、時代衣装の着用とワラジの試着会を開催する。	149,000
竹とんぼによる地域資源再生（活用）と多世代交流 (深草竹コプターの会)	団体の前身は、竹とんぼでギネス世界記録を達成した「深草竹とんぼ実行委員会」であり、当会より活動趣旨を引き継ぎ「竹とんぼ」という昔遊びの道具を一つの切り口とした地域住民への放置竹林現状の啓発・関心を高め、ともに環境保全に関する取組へとつなげていく。	150,000
地震に強い町づくり～南海トラフ地震に備えて～ (川久保町自治会)	南海トラフ地震の発生が近いと予想される中、至急自治会としての対応策を検討する。 ① 町民に「自助」「共助」の重要性を啓蒙し、被災者・高齢者等の具体的救出案を作成する。 ② 防災対策機器を購入整備し、ハザードマップを基に実地訓練を行う。 ③ 自治会未加入者にも呼びかけ、地域全体の防災対策を構築する。	150,000
ヨシ灯り展 (伏見楽舎（ふしみがくしゃ）)	宇治川観月橋と国道 1 号線の堤防沿いのツバメのねぐらになっているヨシ原群のヨシ利用・活用として、またヨシは水・土・空気を浄化していることを学習しながら、小学生児童に工作学習の一環としてヨシ灯り展オブジェクトのおもしろさ、楽しさを味わい地域のつながりをもってもらおう。	150,000
久我食育推進事業 (久我土ん子クラブ)	久我地域は、多くの農地と久我体験農園が所在する、魅力あふれる「田園都市」であるが、その魅力は十分に理解されていない。そこで、久我地域において食育イベントを開催することで、イベントのテーマである「健康と食」に対する地域住民の理解を深めるとともに、久我地域の魅力を PR する。	87,000

認知症につよいまちづくりの輪 (ももネット)	超高齢化社会を見据え、介護医療福祉の有識者及び参画を希望する地域住民有志の 24 法人 (40 事業所等) で構成された団体。①高齢者および認知症理解における普及啓発②桃山地域行方不明者等 SOS ネットワーク③居場所づくり, 以上 3 つの事業を核とした定例会議を毎月開催し, 計画, 実行, 振り返りを行い, 実際の地域資源を行っている。	150,000
町家 de "交龍"サロン (特定非営利活動法人 深草・龍谷町家コミュニティ)	龍谷大学深草町家キャンパスを, 高齢者と学生が集い, 語り合う場「交流サロン」として開放し, 世代を超えた人々が語り合い, 交流することで, お互いが持っている考え, 知恵, 能力などを共有・理解し合う関係を築く。	90,000
大岩七瀬川サロン (大岩七瀬川サロン実行委員会)	JR 奈良線の東部地域には, 高齢者の交流を目的とした藤紫会, むつみ会, いちょうの会, うずらシニア会の 4 サロンがそれぞれ活動しているが, 各サロン間の交流はなかった。今回初めて合同交流会を開催し, 同じ地域に住む高齢者・住民として, この地域でいつまでも安心して住み続けられるにはどうしたらよいかを皆で考える。	78,000
地域のつながりを作る みんなの菜園整備プロジェクト (Green Island 向島)	高齢社会にいち早く突入した向島ニュータウンは, 単身高齢者などの地域の情報交換の場や生きがいを生み出す居場所が少ないという地域課題がある。本事業は, コミュニティーガーデンをイメージした菜園活動を通じて, 年齢や障がいの壁を越えた多世代交流が可能な地域のつながりの強化, 住民自らの地域共生を育むことに寄与する事業を行う。	150,000
京都文教大学 多文化交流プロジェクト (京都文教大学 多文化交流プロジェクト)	本事業では「留学生がつなぐ」をテーマに, 以下の事業を実施する。①留学生向けの日本語教室 (留学生が日本語を学び, 地域での活動の関心を高める), ②地域行事への参加・ミニバストリップの実施 (地域住民との交流を図る), ③ワークショップ&勉強会の開催 (地域住民への働きかけ)	100,000
留学生と一緒に田んぼで遊ぼう! 子ども稲作体験プロジェクト (FUSHIMI 留学生サポートクラブ)	主として向島地域の生徒・児童, 留学生, そして地域の農家さんと住民の方々と共に, 向島の田んぼにて, 田植え, かかしづくり, 稲刈り, 伊那わら細工とお餅つき, の 4 回のイベントを実施します。それらを通じて子供たちに農業体験, 様々な国からの留学生との交流, 地域の大人たちとの交流の機会を提供する。	150,000

向島駅前環境整備と活性化 (NPO 法人向島駅前まちづくり協議会)	向島駅前を清掃と緑化による環境整備と地産野菜や住民の手作り作品などの展示販売する「市」を開催することによって、向島駅を清潔で美しい向島ニュータウンの玄関にするとともににぎわいのある住民交流の場としていきたい。	150,000
久我やすらぎルーム (久我自治連合会)	「久我やすらぎルーム」は地域の老若男女の「絆づくり」を目的に、「うたごえルーム」「カラオケルーム」をそれぞれ月に1回開き、住民間の親ぼくと高齢者の「居場所」づくりを目指すもの。	150,000
伏見～るかるた小冊子作製 (伏見～るかるた小冊子作製委員会)	毎年開催されている「伏見～るかるた大会」に使用しているかるたに語られ・描かれている45か所の伏見の名所・旧跡をページ毎に写真とコメントを付けて編集して冊子を制作して各小学校に配布する。子どもたちや親子で冊子に語られ・描かれている地域を訪れてもらい、伏見の歴史や伝統、自然、文化自然、環境への理解を深めてもらう。	150,000
藤森神社ラジオ体操の会 (藤森神社ラジオ体操の会)	「何が無くても健康第一」をモットーに十数年も継続したラジオ体操第1と第2体操に平成28年度区民活動支援を受け朝も早いにもかかわらず参加者も増えてきた。本年度はラジオ体操第3の普及活動を民学協働(龍谷大学)で開催するとともに、毎日実施しているラジオ体操と広場・境内の清掃を継続して行う。	110,000
鴨川運河～健康長寿・発信&発進～ (鴨川運河会議)	地域住民の高齢化が進み、核家族化と共に世代間の交流は薄れつつあり、地域の記憶の継承や価値の共有化が難しくなっている。鴨川運河会議はウォーキング、音楽、カフェ、清掃などの屋外活動や、シンポジウム、交流会などの屋内活動・イベントを行い、鴨川運河を取り巻く地域の魅力を伝え、理解と関心を高めて、市民の健康長寿を推進する。	150,000
大岩街道周辺地域の環境保全活動およびコミュニティ再生 (龍谷大学政策学部井上ゼミ)	大岩街道周辺地域では、不法投棄による自然喪失や、町内会がないことによる地域コミュニティの希薄化が課題となっている。そこで、清掃活動等環境保全のため地域住民、事業者を対象としたイベントを学生が開催し、住民と行政・住民同士のつながりをつくり、コミュニティを再生するとともに、地域資源を再生・活用し魅力を発信する。	136,000

とことんあそぼう！し ぜんとあそぼう！ドキ ドキ，ワクワク，ハテ ナがいっぱい！「森の ようちえん」 （うずらの里の森のよ うちえん わっか）	「わっか」では、三つの輪（自然循環・人・学び）を 軸にして以下のことに取り組み、地域のすこやかな生 活に貢献する。将来的には、より確かな育ちとなる継 続的、日常的な平日運営を目指す。 ① 自然体験（毎日の生活の中で、今ある地域の自然 と人々の中での、個々の育ちに沿った遊びの体験） ② 外部団体への参加による社会体験と生活体験 ③ 情報発信と清掃活動	150,000
子育て支援・高齢者の 居場所づくり・多世代 の交流の場づくり （笑顔いっぱい会）	昨年度、本支援事業を活用し、「子育て支援」と「異年 齢の交流」を実施。子育て支援では、家庭的な雰囲気 の中、予定時間が終わっても話が尽きなかった。この 活動を今後さらに発展させていく。異年齢の交流では、 多様な年齢層の接点のない参加者で会場が満室に。そ のため、今年度はいきセンなど広い会場を借りて、昨 年参加が少なかった高齢男性にも参加しやすい企画を 考える。	150,000
醍醐古写真集 （醍醐の歴史と暮らし を学ぶ会）	昨年度、本支援事業を活用し、醍醐地区の住民から醍 醐の古写真を提供してもらい、醍醐支所など3か所で 「醍醐古写真展」を開催した。多くの観覧者があり、 自然と歴史が息づく醍醐の魅力を発信できた。今年度 は、さらに昔の写真はもちろん、現在の写真も合わせ て収集し、写真集として製本。図書館や学校や区役所 等に寄贈することにより、未永く歴史的な資料として 次世代に残していく。	149,000
	合計 26 事業	3,578,000

主な採択事業の進捗状況について

1 重点支援事業（子どもの貧困対策等）



（事業名） 「笑顔つなぐ みんなのいい場所（居場所）」

（団体名） 京都市南浜児童館運営協力会

（補助金額） 150,000 円

（事業概要）

南浜学区内に新しいマンションが建設され、多くの子育て世帯が転入してきており、子育て世帯の孤立を減らすため、子どもの居場所作りとして様々な事業を開催し、地域全体で子どもの成長を見守っていただけることを目的とする。

○8月 ゲーム大会 参加者 約 100 人

○9月 第1回学習支援 参加者 約 10 人

今後も継続実施予定。

○12月3日 クッキング実施予定



（事業名） 竹田子ども育みプロジェクト

（団体名） 田中宮市営住宅自治会

（補助金額） 150,000 円

（事業概要）

竹田学区全域及び藤森学区の一部地域内の子どもたちを対象に、田中宮自治会役員及びNPO 法人国際ボランティア学生協会の IVUSA（龍谷大学深草支部）と協力し、子ども向けの絵本の読み聞かせなどレクリエーションを行い、その後、手作りのカレーと豚汁を食べて交流する。

○11月11日（土）開催、参加者約 30 人



(事業名) 醍醐西子どもの居場所
 (団体名) 醍醐西子どもの居場所実行委員会
 (補助金額) 150,000 円
 (事業概要)

醍醐西学区において、ひとり親家庭や共働き等の理由で、孤食の状態にあるなど「困り」を抱える子どもたちが、地域の大人やボランティアとともに楽しく学び、遊び、一緒に食事をする「子どもの居場所」を継続的に実施している。

○毎月 1 回程度開催



(事業名) こども食堂 (ダイニングあんさんぶるわこう)
 (団体名) ダイニングあんさんぶるわこう実行委員会
 (補助金額) 150,000 円
 (事業概要)

孤食となっている子どもたちとボランティアや地域の方が食事や遊び等を通じて交流を図る。人と人がつながり、地域みんなが笑顔になれる場所として、交流スペースを開放していく。

○毎月 1 回程度開催

2 重点支援事業（健康長寿）

みんなで元気体操と話の会

この会は、高齢者として生活のなかで元気な生活を送るために、毎週月曜日に実施しています。内容は、元気体操と話の会です。参加費は無料です。お問い合わせは、伏見区高齢者支援センターまでお願いします。

日時：毎月 第1、3、5月曜日 午前10時～11時30分

会場：伏見区高齢者支援センター（伏見区本町1-1-1）

月	日	時間	内容
10月	1日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	3日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	5日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	10日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	12日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	14日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	16日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	18日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	20日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	22日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	24日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	26日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	28日	10:00～11:30	元気体操と話の会
10月	30日	10:00～11:30	元気体操と話の会

お問い合わせ先：伏見区高齢者支援センター 電話：075-651-4501

（事業名） みんなで元気体操（筋力トレーニング，介護予防トレーニングの実施）

（団体名） みんなで元気体操と話の会

（補助金額） 140,000 円

（事業概要）

近頃、体力の衰えを感じるという高齢者が増えて来ました。対策として筋トレ，脳トレを規則正しく行ない健康に対する意識を高め，寝たきり介護生活にならない「いきいきと」と暮らせる生活づくりをめざす。

○毎月3回実施 参加者数延べ約500人



（事業名） 地域で行うロコモ予防「健康教室で学び、健康チェックで知る」

（団体名） 伏見ロコモ予防クラブ

（補助金額） 150,000 円

（事業概要）

運動器障害である「ロコモ」を予防することは，超高齢化社会における介護状態を防ぐとともに，健康寿命の延伸につながります。そのためには，正しい知識を学ぶとともに，現在の健康状態を知ることが必要です。そこで，伏見区民を対象に「健康教室で学び，健康チェックで知る」というイベントを開催しました。

○10月29日（日）開催，来場者数約150人



（事業名） 地域と共に第 2 の人生を自分らしく生きる
集い、支え合い、学びの縁側

（団体名） ふれあいオレンジカフェももやま
実行委員会

（補助金額） 150,000 円

（事業概要）

引きこもりがちな高齢者や軽度認知症の方々に対し
外出の機会を増やす為、はつらつ体操やロコモ予防・
耳の観光ツアー・映像による郷土史探訪など多彩な企画
を通じて、心身の健康増進と自立生活を支援する事業
を行う。

○毎月第 2.4（水）開催，来場者数約 15 人（1 回）



（事業名） 日野学区支え合いサロン おかげさま

（団体名） 日野学区婦人会

（補助金額） 150,000 円

（事業概要）

長寿化が進む日野学区において、毎月 1 回、日野小
学校で高齢者に食事や学びの場を提供するサロンを
開催する。サロンでは、食事やおしゃべりを楽しみ、
健康長寿に関する知識を学ぶとともに、単身高齢者の
閉じこもり予防や認知症の早期発見につなげ、地域で
高齢者を支え合うまちづくりを目指す。

○毎月 1 回程度開催予定

3 重点支援事業（地域防災）



（事業名） 「小栗栖宮山防災行動モデル」の策定

（団体名） 小栗栖宮山自主防災会

（補助金額） 150,000 円

（事業概要）

学区全体の防災力を高めるため、避難所運営ゲーム「HUG」を活用した、自主防災会役員の毎月の研修や、平成 29 年 10 月の小栗栖宮山学区総合防災訓練における「HUG」ゲームの実践、さらには、被災地等での復旧ボランティア経験を踏まえた「だいが地域活動若者応援隊」による講義を実施した。引き続き、学区住民の防災意識の向上のため啓発活動等に取り組む。

○平成 29 年 10 月 小栗栖宮山学区総合防災訓練



（事業名） マイ防災マップの作成及び全戸配布

（団体名） 羽束師地区自主防災会

（補助金額） 90,000 円

（事業概要）

地域内を視察して回り、過去の水害発生場所や水害発生時に注意が必要な危険箇所を記載した「マイ防災マップ」を作成し、全戸配布することにより、すべての住民が安全に避難所まで避難ができるようにするとともに、各家庭や地域の総合防災訓練での避難経路確認や、自主防災会未加入世帯の加入促進につなげる。

○11 月上旬に学区内の自治会加入全戸に配布済み。



(事業名) わたしの避難計画
(団体名) 二ノ丸学区自主防災会
(補助金額) 139,000 円
(事業概要)

災害時の避難方法や支援の必要性等を考えるため、緊急連絡先、常備薬、避難ルート等を記入する「わたしの避難計画」を作成し、全戸配布する。

記入後は、家庭で冷蔵庫に貼ったり、自主防災会に提出するなど、防災意識の向上や災害時の支援に役立てる。

○学区の全世帯に配布済み。回収 644 世帯。



(事業名) 地域の集合場所における表示板の設置
(団体名) 深草学区自主防災会
(補助金額) 150,000 円
(事業概要)

災害時に、住民の安否を確認する場所として重要な「地域の集合場所」を地域住民に周知することを目的に表示板を設置することで、地域住民の防災意識の向上や地域の安心・安全に貢献する。

○「地域の集合場所」100 箇所に表示板を設置

4 一般枠



(事業名) 五感で感じる鳥羽伏見の戦い
150年プロジェクト

(団体名) 鳥羽伏見 150

(補助金額) 600,000 円

(事業概要)

鳥羽伏見の戦いから 150 年の区切りの年に、多くの住民が参加する周年事業を実施し、今後の継続的なまちづくりにつながるきっかけを作るとともに、新たな観光資源として定着させる。

(今後の予定)

○1月9日

伏見幼稚園の園児による鼓笛隊による時代行列

○1月12日～21日

鳥羽伏見の戦いオリジナル絵図の展示等

○1月21日 講演会

○1月27日 鳥羽伏見の戦い歴史ショー

5 一般枠



(事業名) Manamana Lima (マナマナリマ)

ハワイアンファミリーデー

(団体名) ハワイアンファミリーデー

(補助金額) 269,000 円

(事業概要)

夏休みの子どもの居場所づくりを目的として、淀地域(美豆, 明親, 納所学区)の子どもたちが家庭環境や貧富の差に関係なく、子どもから大人まで参加いただけるワークショップを開催すると共に夏の思い出作り, 夏休みの宿題をサポートする。

○7月22日(土)23日(日)開催, 来場者約2,000人

6 小規模枠



(事業名) 鴨川運河

～健康長寿・発信&発進～

(団体名) 鴨川運河会議

(補助金額) 150,000 円

(事業概要)

ウォーキングや交流会などの活動により、鴨川運河を取り巻く地域の魅力を伝え、理解と関心を高めて、市民の健康長寿を推進する。

○9月2日(土)「鴨川運河シンポジウム」開催

「伏魅力」再発見・発信～魅力再発見・プロジェクト～
伏見連続講座 ―ふれて、して、みて伏見―



区内の5大学や、地域団体が連携し、伏見の多様で魅力的な歴史や地域資源を学び、育み、伝えていくことを目的に開催。各団体が主催する伏見に関する講演会やまち歩き等の公開講座を「伏見連続講座」として位置づけ、地域の魅力や資源を再発見し、「伏魅力」を内外に発信する。平成29年度は、大政奉還150年や鳥羽・伏見の戦い150年等、タイムリーなテーマ設定を行った。

(参画団体)

- ・ 龍谷大学龍谷エクステンションセンター
- ・ 京都聖母女学院短期大学
- ・ 京都文教大学フィールドリサーチオフィス
- ・ 京都教育大学
- ・ 種智院大学
- ・ 桃山同窓会
- ・ 深草古絵図プロジェクト
- ・ 伏見楽舎
- ・ 伏見歩き隊
- ・ 伏見城研究会
- ・ 深草ふれあい事業実行委員会
- ・ 醍醐もちもちいんウォーク企画委員会

平成29年度開講スケジュール、受講者数一覧

回	開催日	時間	場所	主催者	講座名	定員	受講者数
1	10月7日(土)	13:30～ 15:00	龍谷大学深草キャンパス 21号館 6階 603教室	龍谷大学	シリーズ「伏見のいきものを知る」 第1回「京都の里山と昆虫たち」	200	105
2	10月9日 (月・祝)	10:00～ 11:30	京都聖母女学院短期大学別館アッセンブリルーム2	京都聖母女学院短期大学	基礎講座：鳥羽・伏見の戦い150周年を迎えて、戦国時代から鳥羽伏見の戦いまでを総復習 第1回目：戦国時代から江戸幕府の成立と武断政治の終わり	200	188
3	10月13日(金)	9:30～ 12:00	淀本町・淀新町付近	京都文教大学	『淀古今眞佐子』を歩く～鳥羽伏見の戦い趾を訪ねて～	15	18
4	10月14日(土)	9:30～ 12:00	京阪淀駅改札口	伏見楽舎	伏見史跡探訪会ツアー 第1回「淀の史跡を訪ねて」	20	35

回	開催日	時間	場所	主催者	講座名	定員	受講者数
5	10月14日(土)	10:00～ 11:30	京都聖母女学院 短期大学別館ア ッセンブリルー ム2	京都聖母女学 院短期大学	基礎講座：鳥羽・伏見の 戦い 150 周年を迎えて、 戦国時代から鳥羽伏見の 戦いまでを総復習 第2回目：文治政治のは じまりから開国	200	154
番 外 編	10月14日(土)	10:00～ 12:00	伏見城跡発掘調 査現場 桃山町泰長老	埋蔵文化財 研究所	「子ども歴史体験」 ～伏見城跡発掘調査と伏 見人形の絵付け～	30	26
6	10月14日(土)	13:00～ 15:00	京都文教サテラ イトキャンパス 伏見大手筋	京都文教大学	Kids 講座 ～伏見発祥の寒天をプロ に教えてもらおう！～	15	19
7	10月21日(土)	13:30～ 15:00	龍谷大学深草キ ャンパス 21 号 館 6 階 603 教室	龍谷大学	シリーズ「伏見のいきも のを知る」 第2回「伏見とかかわる 身近な鳥、渡りをする水 鳥たち」	200	90
8	10月21日(土) 11月10日(金) ※雨天順延	17:30～ 19:30	J R 「稲荷」 駅 前鳥居下	龍谷大学	現地学習講座 「夜の野生動物観察会」	30	31
9	10月26日(木)	18:00～ 19:30	京都教育大学大 講義室 1	京都教育大学	シリーズ『震災と向き合 うーもし伏见到地震が起 こったら…』 第1回「伏见到地震は起 こるのか？」	150	118
10	10月28日(土)	10:00～ 11:30	京都聖母女学院 短期大学別館ア ッセンブリルー ム2	京都聖母女学 院短期大学	基礎講座：鳥羽・伏見の 戦い 150 周年を迎えて、 戦国時代から鳥羽伏見の 戦いまでを総復習 第3回目：開国から鳥羽 伏見の戦い	200	159
11	11月3日 (金・祝)	14:00～ 16:00	伏見区総合庁舎 4 階大会議室	伏見歩き隊	新出史料『堀内村沿革史』 ～泰平の時代、江戸期・ 伏見桃山の姿～	100	210
12	11月4日(土)	10:00～ 11:30	伏見区総合庁舎 1 階ホール	伏見楽舎	伏見史跡探訪会 座学 「発掘調査から見た伏見 城」	150	209

回	開催日	時間	場所	主催者	講座名	定員	受講者数
13	11月4日(土)	10:30～ 12:00	京都文教サテラ イトキャンパス 伏見大手筋	京都文教大学	ふしみのロゲイニングを つくろう！ ～新しい観 光のあり方（ロゲイニン グ）を学ぶ～	15	15
14	11月4日(土)	14:00～ 16:00	深草総合庁舎 4階大会議室	深草古絵図 プロジェクト	もうひとつの蛤御門の変 洛南の戦	100	156
15	11月10日(金)	13:30～ 15:30	京都文教マイタ ウン向島 及び向島地域	京都文教大学	幻の城、向島城を巡る	15	23
16	11月18日(土)	9:00～ 12:00	南山城学園醍醐 和光	醍醐もちもち いんウォーク 企画委員会	醍醐もちもちいんウォー ク	100	雨天 中止
17	11月18日(土)	9:30～ 12:00	松本酒造前	伏見楽舎	伏見史跡探訪会ツアー 伏見城西の濠周辺を探索	20	24
18	11月18日(土)	13:30～ 15:00	龍谷大学深草キ ャンパス 21 号 館 6 階 603 教室	龍谷大学	シリーズ「伏見のいきも のを知る」 第3回「伏見に暮らすけ ものたち」	200	61
19	11月18日(土)	13:30～ 15:30	伏見区総合庁舎 1階ホール	桃山同窓会	伏見城と「伏見時代」	200	220
20	11月25日(土)	10:00～ 12:00	京都文教サテラ イトキャンパス 伏見大手筋	京都文教大学	ふしみのロゲイニングを つくろう！～フィールド ワークをして、魅力（ポ イント）を発見～	15	
21	11月25日(土)	14:00～ 15:30	総本山醍醐寺	種智院大学	伏見桃山文化と醍醐寺の 祈り	100	
22	11月26日(日)	9:30～ 12:00	JP 藤森駅	深草古絵図 プロジェクト	歴史街道ウォーキング 「大和大路南部」	30	
23	12月2日(土)	14:00～ 16:00	伏見区総合庁舎 4階大会議室	伏見城研究会	室町時代に「伏見九郷」 は存在したのか ～『伏見古図』の呪縛が 解けたその先に～	200	
24	1月13日(土)	13:30～ 15:00	深草総合庁舎 4階大会議室	深草ふれあい 事業実行委員 会	第15回深草文化交流 古代遺跡発掘について ～深草弥生遺跡を中心に ～	200	

回	開催日	時間	場所	主催者	講座名	定員	受講者数
25	1月22日(月)	18:00～ 19:30	京都教育大学F 棟F16講義室	京都教育大学	シリーズ『震災と向き合 うーもし伏見に地震が起 こったら…』 第2回「災害に強いまち 伏見をつくる」	150	
26	3月2日(金)	18:00～ 19:30	京都教育大学F 棟F16講義室	京都教育大学	シリーズ『震災と向き合 うーもし伏見に地震が起 こったら…』 第3回「震災と復興ー震 災の後に避けて通れない ことを阪神・淡路大震災 に学んで知っておくー」	150	
27	3月17日(土)	9:30～ 12:00	海宝寺前	伏見楽舎	伏見史跡探訪会ツアー 第3回「北堀公園周辺を 訪ねて」	20	
28	3月17日(土)	13:00～ 16:00	伏見桃山・ 中書島地域周辺	京都文教大学	「ふしみのロゲイニング ミニ大会」	50	
定員合計:3,075名				11月20現在:受講者数合計		1,861名	



受講風景



番外編（「子ども歴史体験」）

（３）広報

ア 受講ガイドの作成

受講ガイド冊子を作成し、区内町内回覧を行うとともに、市役所、各区役所、支所、出張所等で配布

イ 市民しんぶん伏見区版に月ごとのスケジュールを掲載

ウ 区ホームページでの掲載

エ 実施した講座のサマリーシート（講座内容レポート）のHPへの掲載

平成30年度の基本的な考え方

文化庁の京都への全面的な移転を見据え、参画団体の拡充や開催期間の拡大など、取組を充実し、さらなる定着を図る。また、明治150年にあたる来年は、関連する講座等の積極的な開催を各団体に呼びかけていく。